

第 26 回 いなべエフエム番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 平成 30 年 10 月 25 日(木) 19 時 00 分～
2. 開催場所 三重北勢地域 地場産業振興センター
3. 出席者 委員総数 7 名 出席委員数 5 名

出席委員

石原正敬委員長 石垣英一副委員長 日紫喜淳委員
末松則子委員 佐藤貴志委員

欠席委員

牧野秀紀委員 宮崎敏明委員

事務局

中林謙太

4. 議題

1. 報告事項
2. 審議用サンプル番組について
「いなべ探望」
3. 各番組メール集計について

5. 議事の経過の概要及び結果

事項 1. 報告事項

<事務局より>

10 月からの番組スケジュールについて報告

事項 2. 審議用サンプル番組について

委員

男性、女性のコンビでキャラが合い聞きやすいと思う。

今回は、いなべのイベントを多く紹介していたが、イベントが少ないときはどうしているのか。

事務局

1 時間の中で更に細かくテーマが分かれています。

イベント情報、その他いなべ市内の出来事、いなべの歴史やフリートークを交え放送しています。

委員

生放送でも聞かせて頂くことがあります。

当日開催していることや、色々な情報が伝わっていいと思う。

一つ気になったのが、いなべ市の情報誌の特集記事を紹介しているとき、順番に各店舗を紹介していたが、店舗によって紹介の仕方(ボリューム)が違った、中には、店舗名だけ紹介して笑い声で終わったものもある。何が笑いの原因になったのかわからない。

事務局

いくつか紹介する場合は、できる限り平等に紹介するようにしていかなければならないと思います。笑い声については原因を究明し、反省したいと思います。

委員

軽快な話し方で聞きやすかった。55分番組という事ですが、カテゴリーごとに話題を変え、いなべを中心に情報提供していただいていたので良かったと思う。また、掛け合い漫才のようなところがあって面白かった。手作り感満載で、読み間違い、言い間違いはあったが番組として聞きやすかった。

委員

プロのパーソナリティではないのか。

委員

5、6分すると曲が入るので、曲が多く感じた。1曲でも減らして他のコーナーを増やすような工夫をしてみてもどうかと思う。曲が多く長いイメージがあるし、曲中に他局にかえられるのもつたいない。そこだけが気になりました。

事務局

プロではありません。経験なしで開局より続けていただいています。

曲に関しては他の生放送番組も基本的におよそ5分で切り替えるように考えています。他の番組も合わせて一度工夫してやってみます。

委員

生番組という事で、今回は当日のイベント等も紹介していましたが、普段から当日のいなべの状況なども放送内でやるのか。(11時～12時放送)

事務局

紹介する場合がありますが、生放送した音源を再放送(翌週)で全国のコミュニティFMで放送していただいていますので、なるべくリアルタイムな情報は入れないようにしています。当日のレポートやリアルタイムなことは、この番組の前の番組(10時～11時放送)で、なるべく紹介するようにしています。

委員

全国より反応があるようですが、どのような反応がありますか。

事務局

全国放送(深夜)を聞いていただいている方よりも、インターネットでリアルタイムに聞いていただいている方が多く、その日の話に沿った内容のメールを送っていただく事が多いです。また、それぞれの地方の情報も送っていただき番組を通してやり取りしています。

委員

いなべ探望という番組名と内容の整合性は意識されているか。

事務局

番組内のいなべ探望のコーナーでは、いなべの歴史や名称の話をしていますが、番組名との整合性といえばこのコーナーくらいかもしれません。(市内イベント、行事の話は他のコーナーでしている。)

委員

日曜日の午前中に番組を続けていただけるのは局としては有難いと思うので良い番組を作ってください。

事項 3.各番組メール集計について

事務局

1 番組当たりのメール数の増減はほぼないが、新規で市内の方からのメールが何件かありました。

6.審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定。

7.公表の方法

自社ホームページ

8.その他

10月からの新番組(日本の演歌・歌謡曲)、番組表についてご意見を頂きました。

以上